伝統文化を保存する機能　―伝統文化を伝える働き―

日本の行事には、五穀豊穣祈願や収穫を祝うものなど、農業に由来するものが多くあり、永きにわたり地域の人たちにより受け継がれています。

「新庄まつり」（国重要無形文化財）　山形県新庄市

1755年（江戸中期）の凶作飢饉に見舞われた新庄領内では多くの餓死者が出て、これに心を痛めた時の藩主が命じ、領民たちを励まし五穀豊穣を祈願するために始まったお祭りです。

「あえのこと」　（ユネスコ無形文化財）　石川県輪島市

奥能登地方に古くから伝わる稲作を守る「田の神様」に祈り感謝する民俗行事。

「あえ」＝もてなし
「こと」＝祭り

四季折々の自然の恵みに感謝と祈りを捧げる日本の伝統文化

「肥土山農村歌舞伎」（県無形民俗文化財）
香川県小豆島

約330年前（江戸時代前期）農業用ため池の完成を祝って始まったとされています。現在、地元の保存会によって毎年5月3日に離宮八幡神社の舞台で奉納されています。

「豊年祭（プーリィ）」
沖縄県石垣市

稲・粟などの収穫に感謝し、来年の豊作を願う伝統行事。

「プーリィ」=漢字で穂利
プールとも呼ばれる